



年始のご挨拶



京丹波町ボランティアバンク運営委員会
委員長 山崎 裕二

みなさま、新年おめでとうございます。
健やかに新春をお迎えのことと存じます。

常日頃より、京丹波町ボランティアバンク運営委員会の活動につきまして、多くのみなさまのご理解、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

この紙面をお借りして、委員長として、年始のご挨拶をさせていただきますのも、3回目になります。2014年4月に、地元の方の薦めで、社協登録のボランティア団体に加入させていただいたことが縁で、早8年になろうとしています。

ボランティアの語源は、意志、意思、意欲を意味する voluntas というラテン語からきています。ボランティアは自分の関心のあることや自分にできることから始められるとても身近な活動で、自分自身の体も心も何かしら豊かにしてくれていると実感しています。

ボランティア活動の4つの原則は、自分の意志で行う自主性、自分のためではない無償性、さまざまなことが得られる社会性、すでにある仕組みや発想を超えられる創造性にあります。これらの原則にもとづくボランティアの取り組みが、新たな関係性や社会の仕組みを創生するムーブメントに発展していく可能性も秘めていることにふれ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も、より一層たくさんみなさまに、ボランティアとの関わりをもっていただくなかで、体も心もキラキラと輝く1年になることを祈念しています。



祝 厚生労働大臣賞 受賞！

要約筆記サークル 「くさぶえ」



聞こえの不自由な方に、話し言葉などを文字に書き起こして伝える要約筆記サークル「くさぶえ」が、この度長年のボランティア活動とその功績が認められ、令和3年度ボランティア功労者として厚生労働大臣賞を受賞されました。おめでとうございます。

代表の向井章代^{むかいあきよ}さんは、「自分たちだけでなく、今まで活動されてこられた先輩方や、難聴者協会の皆様の力があってこそいただけた賞だと思っています。これからも、難聴でお悩みの方々の生活が豊かになるようボランティア活動をしていきたいです。」と、受賞に際し想いを話してくださいました。



「聞こえの不自由な方」に集まれる場所を

要約筆記サークル「くさぶえ」は8年前から、和知難聴者協会とともに、難聴で困っている方を対象に相談会を年2回開催しています。聞こえの「なんでも相談」や聴力検査など、聞こえが不自由になるにつれ、人に会う事が億劫になってしまう人が来やすい場所作りに取り組んでこられました。

昨年の12月13日（月）には、ふない・舞鶴聴覚言語障害センターの協力のもと、「和知難聴者のつどい」が開催され、近況報告と聴力検査、体を動かすゲームが行われ「くさぶえ」は文字で内容を伝えられました。

参加者の近況報告では、「病院で名前を呼ばれても聞こえないので、意思表示の為のカードを持っている。」「思い切って筆談を頼んでいる。」「といった工夫や心情、「同じ悩みを持つ者同士、会合に寄せてもらえて嬉しい。」という喜びの声など様々な意見がありました。

長年にわたり難聴者に寄り添いながら行われてきた活動が、今回の受賞につながりました。今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。



話し言葉や内容を書き写して、スクリーンに投影。

お問い合わせ
連絡先

京丹波町社会福祉協議会 地域福祉課（榎川・山崎・野間）

丹波支所 ☎82-0126 和知支所 ☎84-1833